

# 横浜市庁舎建設タイムズ

第8号

令和元年6月

～行政棟の外壁取付けが全て完了しました～

発行：横浜市総務局新市庁舎整備担当、建築局新市庁舎整備担当  
作成編集協力：竹中・西松建設共同企業体



行政棟は外壁と最上部のヘリポートの設置を完了し、1年以上稼働したタワークレーンも順次解体しています。アトリウムの鉄骨工事や外構工事も本格的に始まりました。建物内では内装・設備工事等がピークを迎えています。

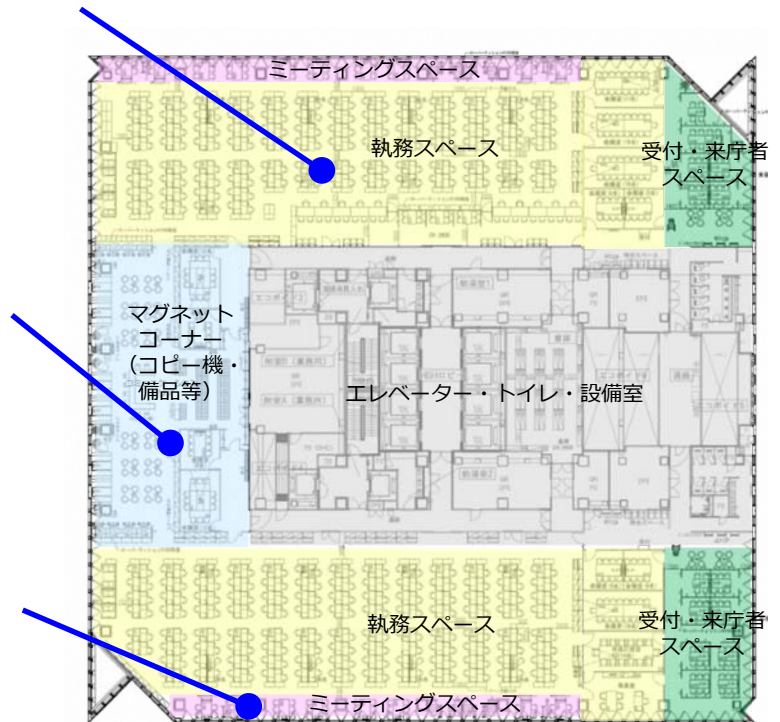
# 計画のポイント

## 行政棟高層階の計画

### 職員の執務室



高層階は、職員が働く執務室になっています。

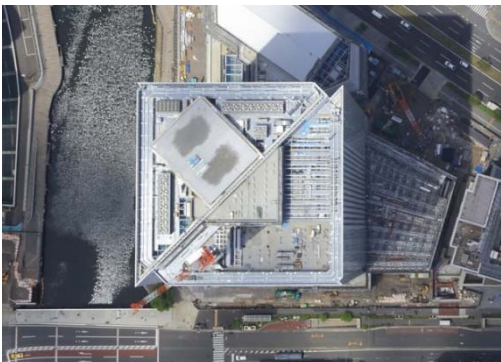


※イメージパースは実際と異なる場合があります。

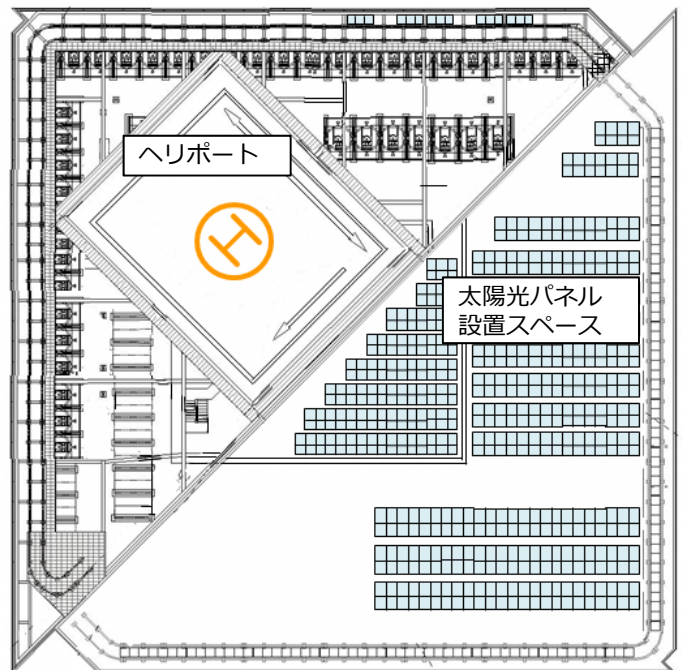
### 行政棟の屋上

屋上には約100kWの太陽光パネルを設置し、蓄電池と合わせて災害時にも利用できるように計画しています。

また、災害時等の利用を想定したヘリポートが最上部に計画されています。



上空からの航空写真 (令和元年5月20日撮影)



建物の揺れに強い特別なエレベーターを採用しています。

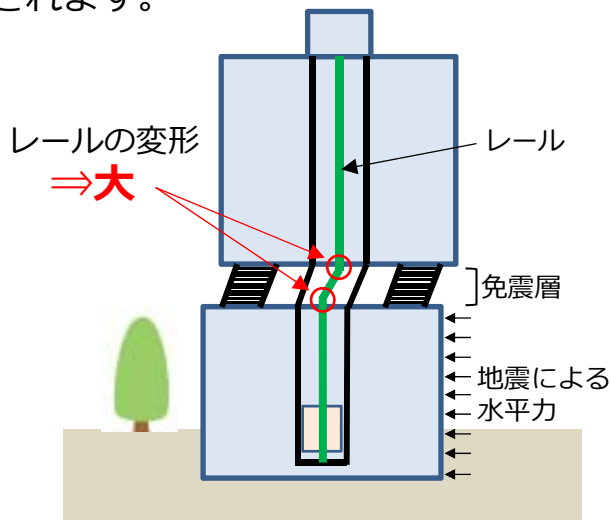


新市庁舎は、2階と3階の間に免震層を配置した中間層免震建物となっています。免震建物では地震が発生すると免震層を境に上下で異なった揺れ方をするため、建物に変位（免震層上下のズレ）が生じます。

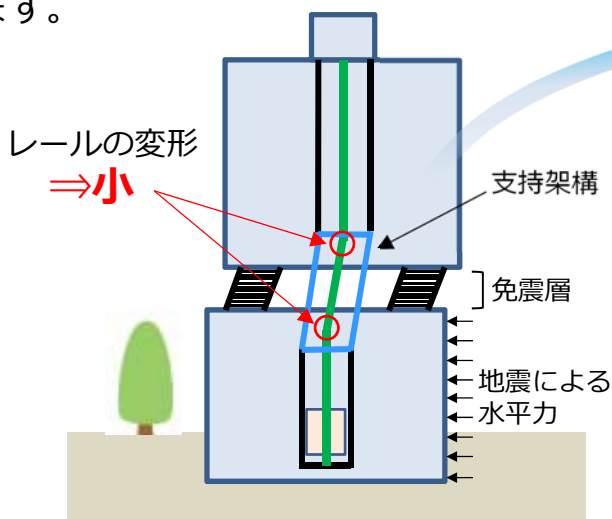
そのため、エレベーターなどの免震層を通過する設備を設置する場合は、この変位に対応できるようにする必要があります。

### 中間層免震建物対応型エレベーターの仕組み

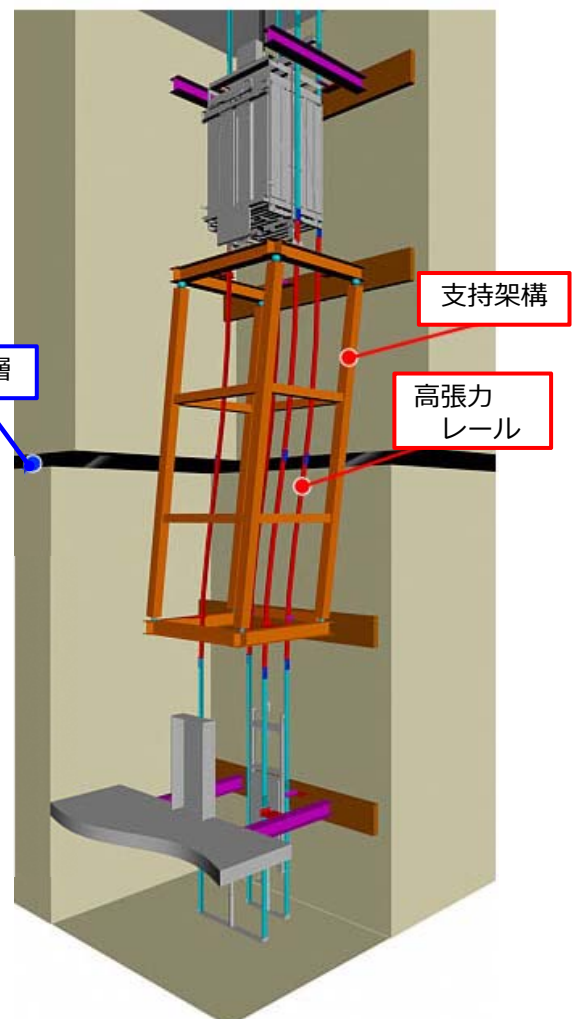
通常エレベーターのレールは一定の間隔で建物に固定しますが、中間層免震建物で建物にレールを固定すると、地震によって生じる変位のために、免震層の部分でレールが大きく変形することが予想されます。



そこで、建物の揺れに対して変形するフレーム（支持架構）を設置し、このフレームにレールを固定します。フレームには建物の変位を分散する効果があり、レールの変形を小さくできます。



「免震建物」については建設タイムズ第4号をご覧ください。



地震発生時の動き

※本記事は（株）日立ビルシステムのHPを一部引用しています。

## ■ 施工状況写真①

アトリウムの鉄骨工事が始まりました。大空間を形成する複雑な形状の鉄骨を安全に組み立てるため、作業用の足場をアトリウム全体に設置して工事を進めています。



アトリウム工事全景



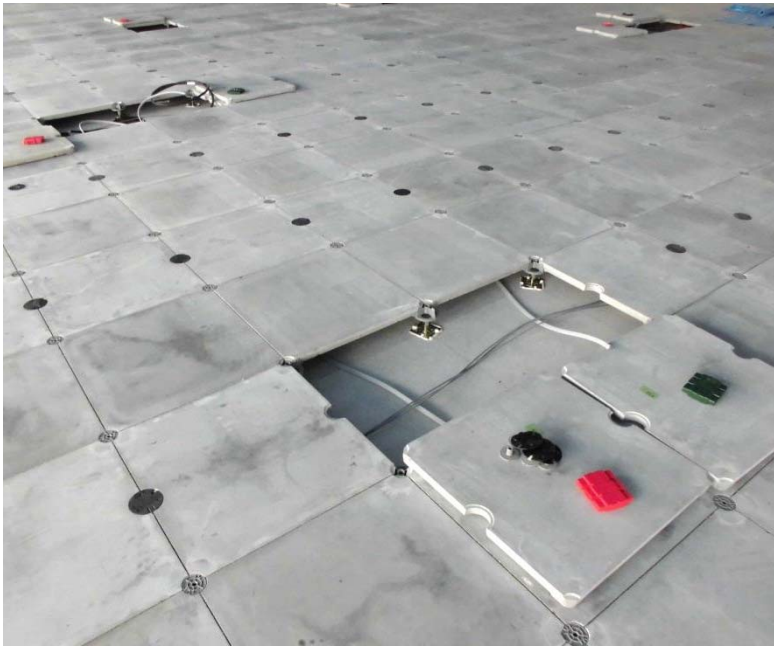
鉄骨柱の設置状況



アトリウム屋根鉄骨施工状況

■ 施工状況写真②

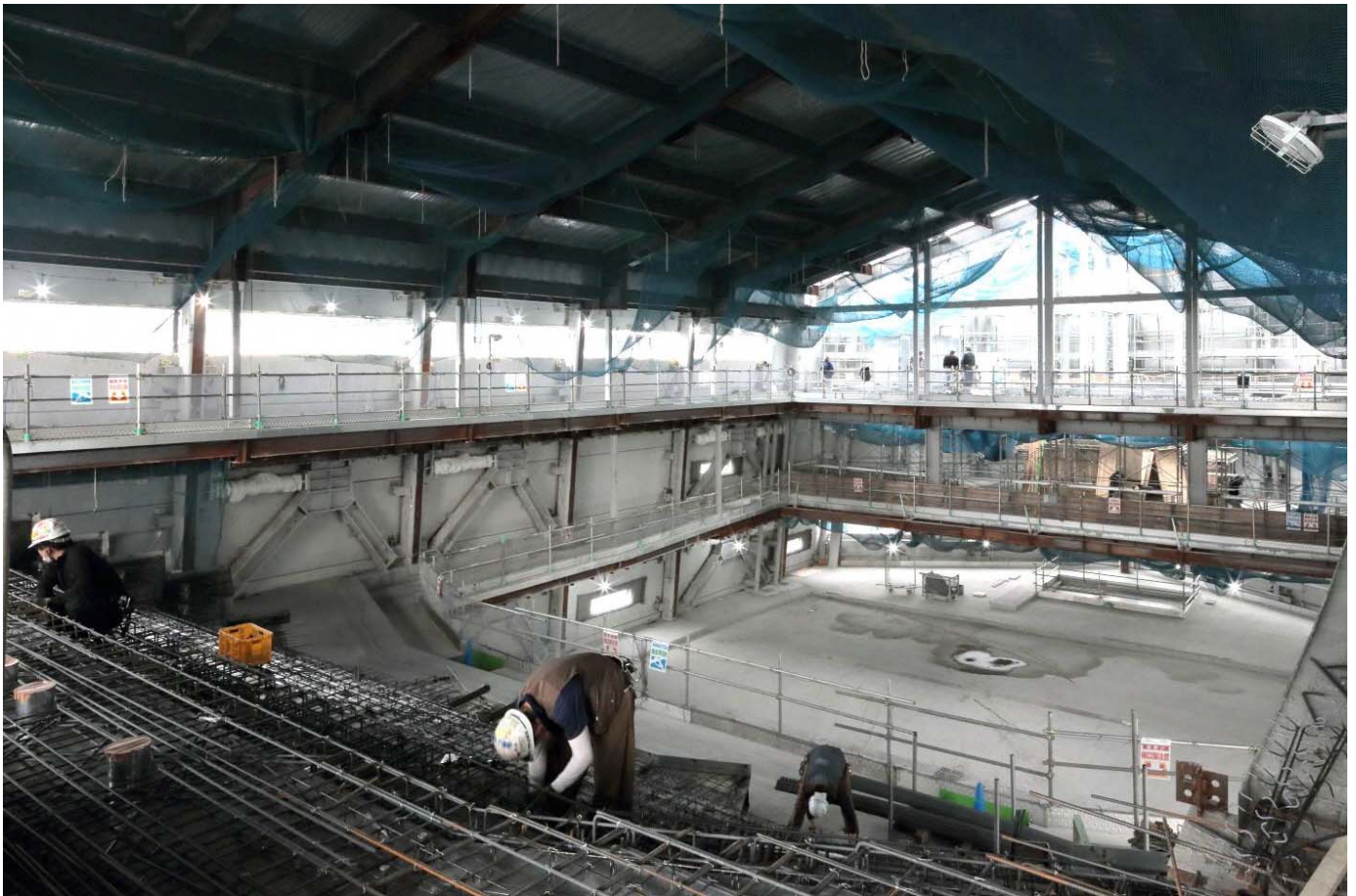
内装工事、設備工事も順調に進捗しています。



行政棟 OAフロア施工状況



行政棟 4階機械室



議会棟 議場全景

※OAフロア：電話線、LANケーブル等を床下に自由に配線するために空間を設けた二重構造の床

## 上棟しました

平成29年10月から始まった鉄骨工事も、1年5か月かけ、平成31年3月5日に上棟を迎えました。当日は快晴の中、施工者が上棟の様子を見届けるとともに、建物の無事完成を願いました。

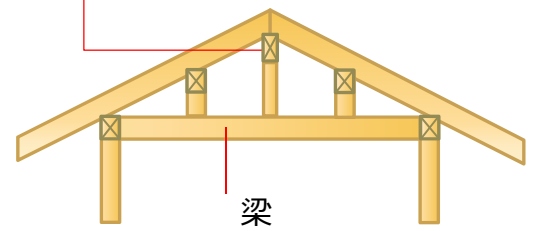


上棟梁の巻上げ

### 「上棟」って何？

「上棟」は、一番高い棟木を設置（棟上げ）することです。

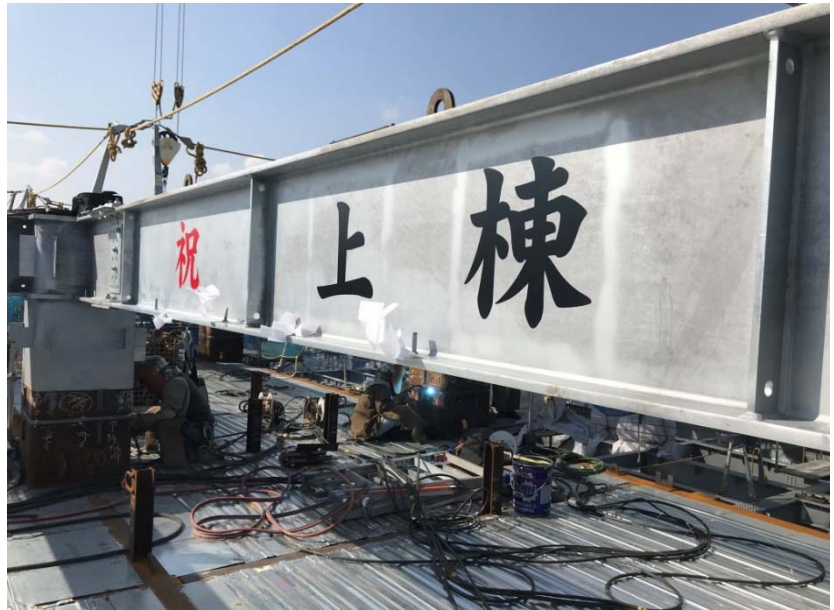
棟木



梁

鉄骨造では鉄骨を建て終わった時点「上棟」と呼ぶことが一般的です。

新市庁舎では、最上階の鉄骨の設置をもって上棟となりました。



上棟梁の設置

次号以降も現場の状況をお伝えします。  
お楽しみに！

～お問い合わせ窓口～

横浜市総務局総務部管理課新市庁舎整備担当

建築局公共建築部施設整備課新市庁舎整備担当

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1横浜アイランドタワー17階

E-mail: so-chosyaplan@city.yokohama.jp TEL: 045-633-3912 FAX: 045-664-2501

URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/>